【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公開番号】特開2008-89880(P2008-89880A)
【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)
【年通号数】公開・登録公報2008-015
【出願番号】特願2006-269753(P2006-269753)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　5/00　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/14　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/34　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/22　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　5/00　５１０Ｑ
Ｇ０９Ｇ　5/14　Ａ
Ｇ０９Ｇ　5/34　Ａ
Ｇ０９Ｇ　5/22　６３０Ｇ
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５５Ｂ
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成21年7月23日(2009.7.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のコンテンツおよび該コンテンツに関するコンテンツ情報が記録された記録媒体から該コンテンツ情報を読み取る読取手段と、
表示部を有し、該読取手段が読み取ったコンテンツ情報を表示する表示手段とを備え、
該コンテンツ情報の全ての文字を該表示部に一度に表示できない場合であって、
該コンテンツ情報がコンテンツを特定するための第１の表示文字および第２の表示文字を含むとき、
該表示部を第１の表示領域と第２の表示領域に分割し、
該第１の表示文字を該第１の表示領域にスクロール表示し、該第２の表示文字を該第２の表示領域に固定表示する、コンテンツ情報表示装置。
【請求項２】
前記コンテンツ情報の文字数と前記表示部の表示可能総文字数とを比較する比較手段をさらに備え、
該比較手段が、該コンテンツ情報の文字数が該表示部の表示可能総文字数よりも大きいと判断した場合、
前記第１の表示文字が前記第１の表示領域にスクロール表示され、前記第２の表示文字が前記第２の表示領域に固定表示される、請求項１に記載のコンテンツ情報表示装置。
【請求項３】
前記第２の表示領域の表示可能文字数が前記第２の表示文字の文字数であり、
前記第１の表示領域の表示可能文字数が前記表示部の表示可能総文字数から該第２の表

示文字の文字数を引いた文字数である、請求項１または２に記載のコンテンツ情報表示装置。
【請求項４】
前記コンテンツ情報が区切り文字を含み、
前記第２の表示文字が該区切り文字以降の文字列であり、
前記第１の表示文字が該区切り文字より先頭側の文字列である、請求項１～３のいずれかに記載のコンテンツ情報表示装置。
【請求項５】
前記コンテンツ情報の最後尾から先頭に向かって順に文字が数字であるか否かを判断する数字判断手段と、
該数字判断手段により文字が数字でないと判断された場合に、該文字から先頭に向かって順に文字が区切り文字であるか否かを判断する区切り文字判断手段とをさらに備え、
該数字判断手段により数字と判断された文字と、該区切り文字判断手段により区切り文字と判断された文字とが前記第２の表示文字とされる、請求項４に記載のコンテンツ情報表示装置。
【請求項６】
前記区切り文字が所定の文字または文字列である、請求項４または５に記載のコンテンツ情報表示装置。
【請求項７】
前記コンテンツ情報の最後尾に含まれる１または複数の非表示文字は前記第２の表示領域に表示されない、請求項１～６のいずれかに記載のコンテンツ情報表示装置。
【請求項８】
表示部を有し、コンテンツ情報を表示する表示手段を備え、
該コンテンツ情報の全ての文字を該表示部に一度に表示できない場合であって、
該コンテンツ情報がコンテンツを特定するための第１の表示文字および第２の表示文字を含むとき、
該表示部を第１の表示領域と第２の表示領域に分割し、
該第１の表示文字を該第１の表示領域に表示し、該第２の表示文字を該第２の表示領域に表示する、コンテンツ情報表示装置。